

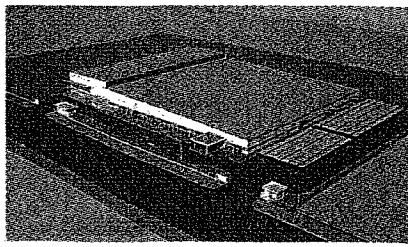
田淵電機がベトナムに トランス・コイル工場

開発も
研究拠点
研究拠

田淵電機は3日、ベトナム・ハノイ郊外にトランス・コイル工場とトランス・コイルの研究開発拠点を建設する、と発表した。

工場は07年10月着工、08

年4月竣工、稼働予定。研究開発拠点は10年に設置の予定だ。勤勉な労働力をコ



田淵電機のベトナム工場
完成予想図

スト面で優位に確保できること、顧客、納品先とのアクセスが良いこと、優秀なエンジニアを確保しやすいことなどからベトナムへの進出を決めた。

海外工場としてはタイ、中国・上海、東莞に続いて4工場目。日本を含めると5工場目となる。海外工場

の建設は00年にスイッチング電源トランス・電源工場の東莞工場以来、7年ぶり。トランス・コイルの海外研究開発拠点を建設は初めて。

ハノイから22キロ離れたタイドン・ホアンソン工業団地に今月、資本金500万ドル(田淵電機全額出資)で生産子会社「ベトナム田淵エレクトリック」を設立。10月に本社工場(敷地

面積約3万2千平方メートル、第1期建物面積約6千平方メートル)を着工、08年4月竣工、稼働予定。

トランス、コイルのグローバル生産拠点として位置づけ、まず、電源用小型高周波トランスから生産する。08年度年産2400万12500万個を予定。09年度年産6千万個、3千万ドルの売上げを計画している。需要をみながらコイル類も生産していく。

伊勢隆俊香港田淵電機有限公司副総経理が社長に就任予定。09年度約2千人の従業員規模にする予定である。

トランス・コイルの研究開発拠点は海外のトランス・コイルの本格的な研究開発拠点として「アジア電気機械研究所」を10年をメドにベトナム田淵エレクトリック内に設ける。ハノイエ

科大学、ハノイ貿易大学など地元大学との産学連携を進め、トランス、コイルのコア技術からアプリケーション技術、全チャンネルの研究開発に取り組む。タイ・バンコクにある電源研究開発拠点と並ぶトランス・コイルの研究開発拠点として設立準備を急ぐ。